

VOL.10 NO.3 TOTAL.395
毎週月曜 PM12:30~1:30 場所:アパローム紀の国

Weekly Report

和歌山アゼリアロータリークラブ



WAKAYAMA AZALEA ROTARY CLUB



会 長: 信川 昌通 (会報委員)
副会長: 松本 良三 北畑 充香・栗山 久・黒田 忠嗣
幹 事: 安宅 浩一 坂部美智子・當仲 清孝・安田 久子

事務局: 和歌山市雑賀屋町52 南方ビル2F
TEL: 073-435-3470 FAX: 073-435-3472
E-Mail: wa-az-rc@naxnet.or.jp

2007-2008年度
国際ロータリーのテーマ
ROTARY SHARES
ロータリーは分かちあいの心
R.I.会長 ウィルフリッドJ.ウィルキンソン



2007-2008年度
アゼリアロータリーのテーマ
クラブ会員と 地域の人々と そして未来を担う若者と
“最も美しいもの
笑顔分かち合いましょ”

〈本日の例会〉

■ 第 413 回例会 7月23日(月)
役員所信表明
100%出席表彰
寄付目標額達成表彰 (R財団、米山)

〈次回のお知らせ〉

■ 第 413 回例会 7月30日(月)
各理事、各委員長 所信表明

〈前回の例会記録〉

■ ロータリーソング 我等の生業
■ ゲスト紹介 岩崎順子さん、シャキヤ アンジュさん
■ ビジター紹介 和歌山RCから2名、城南RCから1名
■ 出席報告 会員数44名
本日の出席 (7/9) 34名 77.29% 出席免除1名
前々回修正出席 (6/25) 39名 86.67% 出席免除3名
(内メイキャップ0名)

〈四つのテスト〉

言行はこれに照らしてから

I. 真実かどうか III. 好意と友情を深めるか
II. みんなに公平か IV. みんなのためになるかどうか

●市内8ロータリークラブ例会情報

クラブ名	日時	内 容
和歌山北	7月23日(月)	クラブフォーラム「本年度活動方針と事業計画の発表」各委員長
和歌山	7月24日(火)	新会員卓話
和歌山東南	7月25日(水)	会員卓話
和歌山西	7月25日(水)	
和歌山東	7月26日(木)	
和歌山城南	7月26日(木)	サマー例会(於:一心)
和歌山南	7月27日(金)	クラブフォーラム「委員会事業活動計画発表」
和歌山中	7月27日(金)	卓話「口腔内の癌について」

会長報告

会長 信川昌通

先週、初例会も終わり、市内9ロータリークラブの会長幹事会も第一回が終了いたしました。地区の委員長会議の日程も決まりだしてよいよ新しい年度がスタートいたしました。

先日、冬季オリンピックの開催地がロシアに決定とのニュースがありました。

ふと、疑問に思ったのですが、なぜロータリーに全国大会がないのですか。なぜ日本のなかだけの会頭をださないのですか。日本のロータリークラブがまとまって何かすれば、大きなパワーとなるのに間違いないと思いますが、そんなことないと思いますが、まさかロータリーの本部から禁止されているなんてことないですねえ。

個人の職業奉仕が基本の活動というのは解りますが、個人より地区、地区より地域、そして地域より国です。国レベルの力で一発かましませんか。

とりあえず、ロータリーの全国大会 どこか手を上げるところありませんか。どっかでやって大成功で終われば、又どこか手を上げると思います。毎年毎年地区単位でちまちま地区大会。たまには全国大会あっても誰も文句いわないと思います。

ロータリー全国大会の参加を無性にしてみたくまりました。

幹事報告

幹事 安宅浩一

こんにちは。

本日の報告は3点あります。

まずは会長よりお話がありました各委員長会議の案内です。

各日程についてですが、以下の通りです。

7月21日	社会奉仕委員会	石垣委員長
8月4日	会員増強委員会	田端委員長
8月18日	雑誌広報委員会	松本委員長
8月25日	青少年ライラ委員会	石垣委員長
9月8日	米山委員会	山田委員長
9月15日	ロータリー財団委員会	山田委員長
9月16日	職業奉仕委員会	福本委員長
9月22日	世界社会奉仕委員会	白神委員長

現在確定しているのはこれだけです。
場所は全て農協会館（JA）になります。時間等につきましては追って書類にてご連絡いたします。
欠席の場合は必ず各委員会の代理の方のご出席宜しくお願いします。

次に出席率算定についてですが、地区情報・規定委員会より案内がありますので朗読いたします。

本年度、クラブ理事会承認に基づく主席規定免除会員の中、出席算定に参入されない条件を有する対象者は（1）会員がクラブ在籍年数と年齢の和が85年以上、（2）会員がR I役員である、の何れかの条件を満たす場合に限りです。その他の事由によりクラブ理事会が承認した出席規定免除会員は全て出席算定に参入され、その欠席は欠席としてカウントされます。但し、これらの会員の欠席は会員身分の存続の規定に影響をしません。即ち欠席によりその会員の会員資格が消失することはありません。

最後に他クラブの例会場及び日時の変更をお伝えします。

和歌山城南RC 7月26日(木)18時30分～ 一心でサマー例会

和歌山東RC 7月20日(金)18時30分～ 和歌山東急イン屋上で港祭り花火鑑賞家族例会

粉川RC 7月18日(水)12時30分～ 粉河商工会館2階 会議室

7月9日、和歌山アゼリアロータリークラブのみなさんとのご縁をいただきましたこと、まずは心より感謝します。人と人が出会うことをご縁があつてといいますが、その背後には人間の力を越えた、目には見えない大きな力のはからいがあるように思います。

いのちのこをを通して、「今日、今、この瞬間（とき）にありがとう」という演題でお話しさせていただきます。

子ども達のいじめや自殺についてのニュースが沢山、流れています。世の中に子ども達の犯罪や悲しい出来事が増えています。子ども達からの心の叫びのように思います。

親から子どもへの虐待。本来、自分を守ってくれる存在である親からの虐待、子どもにとって本当につらいことです。

小学校、中学校、高校、大学にお話に行かせていただき、たくさん子ども達と接する機会をいただいています。今、子ども達にとって、生や死を体験する機会はほとんどありません。ゲームの画面上の中で、ボタン一つ押すことで、ゲームの中の人間が死んだり、生き返ったりするというのが日常になってきているのも現実です。でも、子ども達をじっくり見ていると、今も昔も変わりなく人を思いやる心をもっているのだと感じます。表現の仕方は違っていても、人の心の痛みを感じられる子がたくさんいます。大人は、子ども達が本来もっている種が咲くのを信じ、見守る役割があります。

子ども達とおじいちゃん、おばあちゃんが一緒に住むことが少なくなっている時代です。認知症になったおじいちゃんと孫の話、そして90歳を超えた認知症のお母さんに初めて甘える事ができた方の話などまじえながら、いのちのこをとお話しさせていただきます。

病気の人、認知症の人、障害を持った人には、お世話をする人が必要です。

その人達を周りの方々が、お世話をしている形に見えますが、本当は病気の人、認知症の人、障害をもっておられる方々が自らの身体を使って、【いのち】【生きているのではなく、生かされていること】を教えてくださいたいと思います。どなたの人生にもすべて意味があり、起こること、すべてが必然だと感じます。

こうして、今日の出会いをいただけたこと、今、この瞬間（とき）に感謝します。

亡くなられた方の肉体は滅びますが、形を変えて受け継がれると思います。生きていた頃に教えてくれたこと、見せてくれたこと、生き方。それが、残

米山奨学金授与



卓 話

「今日、今、この瞬間(とき)にありがとう」

岩崎順子 様



和歌山アゼリアロータリークラブのみなさん、こんにちは。ギラギラと太陽が照りつける夏の到来も、もうすぐですね。

毎年、何気ない事のように春、夏、秋・・・そして冬とやってきますが、重いご病気をしている方々は、「今年も夏を迎える事が出来るんだなあ」ってしみじみと思っておられる事と思います。

された人たちが困難に出遭った時、受け止め乗り越える力、すなわち【生きる智慧（ちえ）】になること。肉体はないけれど、「生きる力、智慧」に形を変えて生きていく。草木が減びて、やがて土になり、そこにまた違う種が落ち、その土から栄養をもらって育っていくように・・・いのちは終わることなく、大きないのちの巡りの中で、受け継がれていきます。

生きる力

心がパンパンになったとき、話をただ聴いてくれる人の存在に、どれだけ助けられたか知りません。ついつい、アドバイスや批判をしてしまいがちですが、ただ「そうかそうか」とそのままを聴くということの大切さを教えてもらいました。心がぼろぼろの時、「しっかり」「がんばれ」という励ましの言葉はかえってつらいです。人は、本当にしんどいとき、ただそばにいてくれる人、ありのままに聴いてくれる人が誰か一人でもいるということに、どれほど救われるか……。強くなくても、格好わるくても、遠回りしてもいい。それもとっても素敵なこと。落ち込んだり泣いたり、ありのままに……。涙は心を楽しませてくれました。

菩薩さまは、高いところに居られますが、悲しみ苦しむ方が居れば、降りてきてくれて、傍にそっと座ってくださり、悲しみでいっぱいの人と同じ気持ちになってくれる。ただ、傍にいてくれる。ただ、何も言わずに……。やがてその方の悲しみがいつか癒された頃、そっと戻っていかれる。そういう菩薩さまのはからいが、その都度その都度色々な人に姿を変えて、目の前に……。つらい思いをされた方は、人の痛みがわかる心をもらうことができるように思います。

今、増えている子どもの犯罪や悲しい出来事。まるで、心の叫びのように。大人も子どもも、存在そのもの、ありのままの自分を認めてもらえなければ、生きることがつらい筈です。

次の世代を生きるどの子ども達の中にも【生きる力】があることを信じてやるのが今の大人の役目のように思います。

仏さまの慈悲

できれば、健康でありたい、誰もが、病気より健康を願います。

でも、病気や死に出遭ったからこそ、「いのち」「夫婦」「親子」「人との出会い」に向き合えるチャンスをもたらえたのかもしれない。

自らの弱さを思い知ることで、周りの人の温かさ

に気づき、人間の力を超えた仏さまの慈悲に気づかせていただきました。

いままでどんな時も、仏さまに見守られて、このままで幸せだったのだと。

いいことがあったときだけ、守られているのではなく、困難に出遭った時こそ、より一層、見守られてきたのだと。「足りないものを数えながら生きる」ではなく、「足りているものに感謝しながら生かされている」ことを教えてくれたのは、病気や死でした。初めは病気として捉えたガン。それでも、時間の流れと共に全ては少しずつ変化して行って……。人との出会いによってガンは病気という範囲を超えていきました。「ガンが、病気じゃなくなったとき」という題名をつけさせていただきました。

苦しみや、つらさを体験された方々が、自らの人生や周りを恨むのではなく、人を慈しむ心に、慈悲に変えていくことが出来たとき、誰もが心の中にいただいている、仏さまの種を咲かせることが出来るように思います。

大事なものは、外にあるのではなく、今ここ、足元に……。当たり前の中にある大切なもの。仏さまの前で、自分の小ささを知ることの連続でした。今日、このご縁に感謝します。

今、それぞれの心の事に目を向ける時代だと言われていています。

うつ病をはじめ、心の風邪、不安症、様々なことを抱えた時代です。健康に見える方でも、心に問題を抱えていることも少なくありません。

身近な人や、ご家族がそういう状態になったとき周りは、「一刻も早く元気になってほしい。早く！早く！」と思います。大切な人だから、そう思うのは当然のことなのですが、それはご本人にとって、とても辛く回復を遅らせてしまう場合があります。ご本人は、「早く元気になるなければ……」と周りの期待にこたえようとして焦ってしまいます。焦れば、焦るほど、回復が難しくなる事が多いようです。早く元氣になれない自分に落ち込み自己評価が低くなってしまい、生きる意味を見失うことさえあります。

心が沈み人からは、元気がなくなったように見えるとき。その時期こそ、心の根っこをのばす時期ではないかと思えます。

例えば、1本の木があるとします。枝についた葉を全て落とした木は、人から見ると枯れた元気がない木に見えます。でも、それまで葉っぱにいた分の栄養が根っこにいく。その時期こそ、心の根っこが伸びるチャンスかもしれません。根っこがしっ

かりのびることで、暴風が来ても倒れない。そして、根っこが土の中にしっかりとびたとき、今度は自らの幹を太らせ、葉を沢山茂らせて大きな木になることが出来ます。大きな木になったとき、茂った葉っぱの下では、人を休めることも出来ます。大きな木の存在自体が、人の心を自然に和らげる事ができます。

うつ病や心の風邪は、一見いやな事のようにみえますが、見る角度を変えると心の根っこを伸ばしていく素晴らしい時期であるように思います。周りの方が、そういう状況になったとき、根っこが伸びていくのを一緒に見守る事ができればいいなって思うようになりました。心の痛みを抱えた人はとても、敏感になっています。お互い違う人間なので、全てをわかるのは不可能です。けれど、誰かが少しでもわかりたいと寄り添ってくれる、見守ってくれようとする、その想いに安心感を抱くのではないのでしょうか。そのとき、自ら回復する力がゆっくりと湧いてくるように思います。うつ病や、心の風邪は、見方を変えると心の根っこがのびるとき。「ピンチは、チャンス」という言葉がありますが、そうなんだあって思う今日この頃です。

ありのままに聴くということ

数年前、こどもが2年近く入院生活をしました。娘の病気がなかなか回復しなかった頃、ある方が、ゆっくりした口調で言ってくれました。

「ピッチャーではなく、キャッチャーであってはどうでしょう。こどもさんが、悩みや辛い気持ちを出してきたときに、ありのまま、聴いてあげてほしいです。間違っていようがとにかく、最後までありのままに聴いてあげてください。相手がようやく気持ちを出してきているのに、途中で（その考え方は違う、まちがっているよ）とか、（私はこう思う）とか言ってしまうと相手は、気持ちを出さなくなり、口を閉ざしてしまいます。親はそのうち、キャッチャー（聴く側、受け止める側）ではなくなり、知らないうちに、ピッチャー（話す側、自分の考えを投げる側）になってしまいます。とにかく、最後まで、聴いてあげてください。こどもは、親や先生、友達に答えを出してほしいわけではないのです。自分の思いを言葉にして出すことで、自分の中でそれを越えていける力が始まりますよ」

こどもに限らず、どの人にもあてはまることのように思いました。本当につらい思いをしている人が「もう、いやだ！死にたい！」と言ったとき……「そんなこと言わずに頑張って！」と言うと、相手は心を閉ざしてしまいます。その人は、本当に死に

たいのではなく、死にたいくらいにしんどい気持ちを誰かに訴えたかったのではないのでしょうか？それは、生きたいと心から願うからこそ、出てくる言葉のように思います。「そうか、そうか。死にたいくらいにしんどかったんやね」と、ありのままに耳を傾けてくれる人がいたら……。

本当につらいとき、頑張るとい言葉は、つらいです。苦しい中、がんばってきたのに、その上、まだがんばらないといけないのだろうか……。

「よう、がんばってきたねえ」と、心から、気持ちに寄り添ってくれる人が一人でもいたら……。苦しんでいる人は敏感になっていて、相手が、本当に心から聴いてくれているかどうか見分ける力があります。アドバイスや励ましでなく、あたたかく見守り共感する事の大切さ。でも、お互い違う人間同士、全てをわかるのは不可能です。けれど、少しでもわかりたいと寄り添ってくれる、その想いには、安心感を抱くのではないのでしょうか。

この人なら、何を話しても大丈夫と思えたとき、気持ちがゆっくり出始めるように思います。つらさを出せた人は、自らの中から、答えや癒す力が自然に湧き上がってくるのかもしれない。そうして、ゆっくりと心が回復していったとき、別の人の心の痛みに寄り添うことができるのかもしれないなと思います。と言いながら、まだまだ未熟でそれができずにいる私です。

S・A・A報告 【3つの箱】

*ニコニコ箱

和歌山RC 根来孝夫さん

城南RC 根岸憲一郎さん お世話になります。

太田完治会員 今日はお忙しいところ 今 この時にありがとうの卓話をありがとうございます。今日の出会いを大切にしたいと思います。

坂部美智子会員 お誕生日のお祝いありがとうございます。又 体に気をつけて頑張ります。トリプルS。

信川昌通会員 岩崎様 本日の卓話よろしく願いいたします。

本日合計額 21,000円 今年度累計額 142,000円

*ロータリー財団

信川昌通会員 坂部美智子会員

本日合計額 5,000円

*米山奨学

坂部美智子会員

本日合計額 3,000円